

一一四六番

志賀しかの海人あまの 塩焼しほやく煙けぶり 風かせを疾いたみ 立たちは上のぼ  
らず 山やまにたなびく

一一四七番

大汝おほなむち 少御神すくなみかみの 作つくらしし 妹背いもせの山やまを 見みら  
くし良よしも

一一四八番

我妹わぎもこ子と 見みつつしのはむ 沖おきつ藻もの 花はな咲さきた  
らば 我われに告つげこそ

一一四九番

君きみがため 浮沼うきぬの池いけの 菱摘ひしつむと 我わが染そめし袖そで  
濡ぬれにけるかも

一一五〇番

妹いもがため 菅すがの実摘みつみに 行ゆきし我われ 山路やまぢに迷まとひ  
この日暮ひくらしつ